

2023年
(令和5年)
6月10日[土]



沖縄大学

同窓会報

発行

沖縄大学同窓会広報委員会

〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555

☎・FAX 098 (832) 6560

E-mail
dosokai@okinawa-u.ac.jp

第36号

管理栄養士国家試験 合格者寄稿



朝比奈 操

沖縄大学健康栄養学部
管理栄養学科の1期生として
3月に卒業しました朝比
奈操です。沖縄大学同窓会
栄養部の部長を務める
ことになりました。



具志堅 厚成

沖縄大学が創立65周年
を迎えられたこと、心より
お慶び申し上げます。また
教職員の皆様、同窓会の皆
様、関係各位より賜りまし
たご支援とご協力に對しま
して、心より敬意を表し感
謝申し上げます。
沖縄大学は1958年

私は社会人として働いていきましたが、人生をより豊かにしたいと考え、沖縄大学に管理栄養学科が新設されることを知り、資格取得に向けチャレンジしたいと思い沖縄大学に通うことを決めました。

沖縄大学では「地域共創・未来共創の大学へ」との理念のとおりに、沖縄県の歴史や文化、地域課題についても学べました。その中に創立され、今日では「地域共創・未来共創の大学へ」という理念の基、多くの先輩方が巣立っていきました。2019年4月には県内で初の管理栄養士養成施設となる管理栄養学科がスタートしました。あれから四年が経ち、私たち管理栄養学科の第一期生が沖縄大学を巣立ちました。

私が栄養に興味を持ったのは、中学校の地区陸上・地区駅伝への参加と、自宅で料理の手伝いを始めたことがきっかけです。疲労に悩まされていたため、回復を意識した食事を取り入れたのが始まりです。

運動における栄養に興味を持ったということもあり、管理栄養学科へはスポーツ栄養の魅力に惹かれて入学を決意しました。栄養学は理系ということを知っていたものの、初年度から理系の専門知識が必要でした。出番はないだろうと思いつつも捨てずに取っておいた高校の応用理科の教科書が活躍したことから、気合を入れ直しました。

でも大学4年間を通して取り組んだことは子ども食堂でのボランティア活動でした。4年次のゼミ担当教員でもあった新垣慶子先生は那覇市内で子ども食堂の運営に携わっており、そのご縁により私自身も直接、子供達と関わる機会を得ました。

この活動を通じ、子ども食堂での食事や、お弁当の支援を行うことは、普段は意識しない「食」について考えてもらえるきっかけ作りができ、誰かと一緒に食事をすることの楽しさを知ってもらえたと感じています。

2020年から新型コロナウイルスの蔓延により、外へ出ることが制限されるなど、他者との関わりが希薄になりましたが、そんな中でも食を通じて人との繋がりを感ずる事ができ、改めて「食」の大切さに気づくことができました。

これまでは自分のことで精一杯で周りに目を向けることがあまり出来ていなかったように思えますが、沖縄大学でさまざまな経験をしたこと、地域の方々や大学の仲間との関わりが増えました。

講義は学年が進むにつれ専門性が増していきまし。新設の学科で先輩がおり、更にはコロナ禍ということもあり、学生はもちらんのこと先生方も手探りの四年間だったかと思えます。

見えていなかった現実を知ることができ、自分の物差しだけでは計れないことが沢山あるのだと感じました。結果、人の表面だけを見るのではなく、その人の本質を知りたいと思いました。

大学生生活最後の年は自身の成長が大きな一年となりました。特に国家試験勉強を通して、目標とそれに向けて行動することの大切さを実感しました。私も人である以上、幾度となくやるべき事や勉強から逃げたい

まうことがありました。そんな時でも私を救ってくれたのが自分で作ったルールや目標でした。これらの経験は管理栄養士や社会人として成長して行くための、大きな土台となる学びになりました。目標でもあるスポーツ栄養の分野で活躍するために、今後もこれまで得たものを糧に努力する所存です。

最後になりましたが、沖縄大学の益々のご発展を祈念して、ご挨拶いたします。

沖繩大学卒業式・修了式典同窓会長祝辞



沖繩大学同窓会
会長 棚原勝也

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今年度も立派な卒業生を社会に送り出していた

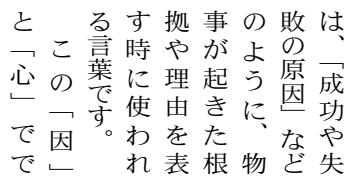
だきました先生方や、大学関係者の皆様の尽力と、ご

子息、ご息女を支えてこられたご家族の皆様にご心からお祝いを申し上げます。また今年度は、健康栄養学部管理栄養学科から、第一期卒業生が誕生することを嬉しく思います。

卒業式とは、新たなスタートであるとともに、周囲の人たちから「恩」に感謝する時でもあります。「恩」という言葉は分解すると「因」と「心」と「心」からできています。「因」とは、「成功や失敗の原因」などのように、物事が起きた根拠や理由を表す時に使われる言葉です。

この「因」と「心」で

管理栄養学科、初年度の卒業生たち



きた「恩」とはどういう意味なのか。それは「自分が今、存在できている原因を知ることのできる心」ということです。この世に生まれ、育ち、学べたのは、皆さん一人だけの力ではないことを見つめなおして下さい。すると親や家族や友人など、支えてくれた人や環境の存在に気づき、感謝の心が生まれてくるはずですよ。私は幼い頃から生活保護世帯でしたが、逆境と考える過去もまた、今の私をつくるために必要な「因」だったと思っています。皆さんも様々な環境の中で育ち、この場所にいるはずですよ。

2020年から始まった新型コロナウイルスの感染拡大によって、思い描いていたキャンパスライフとは違うものになった人も多いと思います。それでも皆さんは最大限の努力をしてきたに違いありません。私は「過去は変えられない」と信じています。過去の出来事をどう捉えるかで過去が持つ意味を変えられると思うからです。過去の出来事を、未来に生きる失敗の原因とするのか、成功の原因にするのか。心の在り方で未来は変わるのです。過去の経験に感謝する心が生まれると「恩」を感じるはずですよ。皆さんはこれから始まる生活の中で「恩」を感じられる心のアンテナを持つていて下さい。

一方で今、世界では「恩」とは真逆の事態が続いています。昨年2月に起きたロシアによるウクライナへの侵略戦争は1年を超えまし。また台湾有事を名目に軍事力増強が声高に叫ばれ、沖縄では戦争の最前線としての準備が進められていることに鈍感であってはけません。戦争は悲しみと憎しみしか生まないことを沖縄は78年前に経験しました。絶対に戦争をさせないための対話の道が求められています。

卒業する皆さんの多くは私たちと同じ同窓生として、社会で活躍する仲間となります。同窓会は皆さんと繋がりを持ちながら、今後も現役学生の活動を支援していきます。どうぞ同窓会活動にもご理解いただき、ますようお願い申し上げます。山代学長は、「新入生の

卒業式・修了式

沖繩大学は3月10日、2022年度卒業式、大学院修了式を挙行了しました。大学院卒業生473名、大学院修了生1名、合計474名の新たな門出を祝いました。全学部の卒業生が一堂に会しての式典は4年ぶり。

健康栄養学部管理栄養学科の一期生や、昨年、プロ野球ドラフト会議で中日ドラゴンズから1位指名を受けた仲地礼亜さんが卒業を迎えるにあつて、県内の

入学式

沖繩大学は4月3日、本学体育館で2023年度入学式式典を開催し、写真659名の入学生が新たに大学生活をスタートさせました。今年度は2部構成とし、午前は経法商学部と健康栄養学部、午後には人文学部の式典を行いました。

午前の式では新入生を代表し、管理栄養学科入学生の上野七海さんが「大学生活を有意義なものにするため1日1日の学びを積み重ね、専門学の知識を深めたい」と決意表明。

マスコミ関係者も多く会場に詰め掛けました。仲地さんには学生時代の努力が称えられ「嘉数昇記念賞」が贈られました。写真。



みなさんにも地域貢献など、様々なことに挑戦する大学生活であってほしい」とエールを送りました。午後には新入生の代表、国際コミュニケーション学科宮城朝音さんが挨拶を行いました。



同窓会新年会の開催

同窓会は1月28日、役員及び評議員会を中心に「新年会」を開催しました。写真。参加したのは幸地正博、島袋正治両顧問、久米島支部の宇江城支部長ら同窓生。



榎原会長就任後、初めての同窓会新年会で、幸地顧問は、「沖大を卒業して良かった。沖大を卒業して今がある。そうした思いになれるよう頑張つてほしい。これからも同窓の先輩後輩を繋ぐ、支援と親睦の場をつくつてほしい」と激励、要望しました。

関西支部設立総会

関西支部設立総会が3月11日、京都の同窓生が営む「なんくる食堂」で行われ、写真。初代支部長に清村齊さんを全会一致で選出しました。

総会には支部設立に尽力した具志堅毅さん、関東支部からは阿波根昌吾事務局長含め、総勢13人が参加。この日が東日本大震災から12年という節目なことから、全員で黙とうを捧げて始めました。

司会は去年、大学を卒業し大阪で社会福祉士として働く橋口風伍さんが、澁刺とした進行でスタート。設立までの経過報告と、23年度の事業計画案・予算案が審議し、役員人事を決定しました。

初代支部長は、大学在学中空手道部で活躍し、現在は三線職人として会を盛り上げる唄者として多彩な顔を持つ清村さんが全員の拍手で承認され、副支部長は建設会社社長として、こちらも多彩な活躍をしている神田智弘、事務局長に具志堅毅、事務局次長に橋口風伍、監事に森田直の各氏を選出しました。年齢層も

職種も多様な、盤石な体制となりました。

清村支部長は挨拶で、「先輩たちへの受け皿となる関西支部にしたい」と抱負を述べ、関東支部の阿波根事務局長は「今後関東と関西、相互に活性させる交流の場も持たたい」と提案もありました。

総会後の懇親会では会場に「京都沖繩県人会」の皆さんが偶然にも同席したことから、関西支部との交流も要請。清村支部長の歌三線に加え、まさにチャンプルーの異次元の盛り上がりでした。



仲地選手激励会

仲地礼亜選手の中日ドラゴンズ入団激励会が昨年12月17日、ロイヤルホテル沖繩で開かれ、写真。榎原会長が左記の挨拶を寄せました(要約)。

私はQABで「めざせ甲子園」の番組立ち上げや実況放送などを通じ、多くの高校野球の取材をしてきました。現在プロ野球で活躍する彼らの姿を見ていると、まるで親や兄弟のような気持ちでいます。これからは、より気持ちの入る仲地君が中日ドラゴンズで活躍されることは何よりの誇りであり、沖繩大学の学生や同窓生に勇気を与える存在です。



大城貴之硬式野球部前監督慰労会

沖繩大学野球部の監督を30年にわたり務めた大城貴之さんの慰労会が1月16日、那覇市内で催され、氏の功績が称えられました。

大城さんは沖大野球部を強豪チームに育て上げ、県内大学初のプロ野球ドラフト会議1位指名の仲地礼亜選手を誕生させた立役者。慰労会には同窓会役員らと、池村貴志新監督、比嘉良彰助監督、翁長佑次郎、浜元一貴の両コーチが参加した。

大城前監督は「昨年の1月に監督退任を決めて、1年の戦いに挑んだ。目標であった仲地礼亜君をプロ野球選手として誕生させることができた。退任に心残りはない」と力強く語りました。



同窓会ゴルフ同好会

同窓会ゴルフ同好会のコンペが3月8日、読谷村のクイーンズトラップゴルフコースで開催されました。

同コンペは同窓生のゴルフ愛好者が一堂に集まり、お互いの親睦を深めることを目的とし、年2回、3月と9月に行われます。初心者から上級者までのゴルフ歴は問わず、ダブルペリア式で行われるためベストグロスを出しても優勝に届かないこともあります。

ナイスショットとゴルフマナーでコンペは終えました。優勝者は前川守豊さん、ラッキー7賞は森田久男さんでした。同コンペは参加者を募集しています。問い合わせは同窓会事務局へ。



2022年度
同窓会事業活動報告

1. 役員会開催(10回)
 2. 評議員会開催(3回)
 3. 監査・定期総会文書開催
 4. 同窓会創立60周年記念事業委員会開催
 5. 広報委員会(5回)
在学生への支援
 6. 社会福祉士・精神保健福祉士合格者へ祝金贈呈
 - ① 管理栄養士国家試験合格者へ祝金贈呈
 - ② 宅地建物取引士資格試験合格者表彰
 - ④ 同窓生子息・子女(あるいは配偶者)の入学金一部補助
 - ⑤ 卒業証書作成補助
 - ⑥ 沖縄大学支援同志会学生支援
- サークル派遣費贈呈
- 第107回硬式野球部南部九州ブロック出場派遣費▽
第98回日本学生選手権水泳競技大会水球部全国大会出場派
▽陸上競技部へ、応援幕及び
派遣費▽第108回硬式野球
部南部九州ブロック出場派遣
費▽第45回軟式野球部全国
大会出場派遣費贈呈▽第66
回全日本大学空手道選手権大
会出場派遣費▽ETロボコン
2022チャンピオンシップ
大会派遣費

2023年度一般会計予算書(案)
2023年4月1日～2024年3月31日

| 収入の部 (単位:円) | | | |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 項目 | 2023年度予算A | 2022年度予算B | 増△減 A-B |
| 1. 会費 | 10,600,000 | 8,000,000 | 2,600,000 |
| 2. 事業収入 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 3. 雑収入 | 100 | 100 | 0 |
| 当期収入合計 | (10,601,100) | (8,001,100) | (2,600,000) |
| 前年度繰越金 | 7,526,535 | 4,237,759 | 3,288,776 |
| 収入合計 | 18,127,635 | 12,238,859 | 5,888,776 |

| 支出の部 (単位:円) | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 項目 | 2023年度予算A | 2022年度予算B | 増△減 A-B |
| 1. 事務費 | 1,736,000 | 1,536,000 | 200,000 |
| 2. 会議費 | 1,750,000 | 830,000 | 920,000 |
| 3. 事業費 | 7,800,000 | 6,375,000 | 1,425,000 |
| A 卒業生対象事業 | (3,300,000) | (3,150,000) | (150,000) |
| B 在学生への支援事業 | (4,300,000) | (3,025,000) | (1,275,000) |
| C その他の事業 | (200,000) | (200,000) | (0) |
| 4. 大学への補助金 | 740,000 | 740,000 | 0 |
| 5. 記念事業積立 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 6. 雑費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 7. 予備費 | 5,501,635 | 2,157,859 | 3,343,776 |
| 支出合計 | 18,127,635 | 12,238,859 | 5,888,776 |

2022年度一般会計決算書
2022年4月1日～2023年3月31日

| 収入の部 (単位:円) | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 項目 | 予算額 A | 決算額 B | 増△減 B-A |
| 1. 会費 | 8,000,000 | 10,200,000 | 2,200,000 |
| 2. 事業収入 | 1,000 | 0 | △1,000 |
| 3. 雑収入 | 100 | 30,023 | 29,923 |
| 当期収入合計 | (8,001,100) | (10,230,023) | (2,228,923) |
| 前年度繰越金 | 4,237,759 | 4,237,759 | 0 |
| 収入合計 | 12,238,859 | 14,467,782 | 2,228,923 |

| 支出の部 (単位:円) | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 項目 | 予算額 A | 決算額 B | 増△減 B-A |
| 1. 事務費 | 1,536,000 | 1,208,694 | △327,306 |
| 2. 会議費 | 830,000 | 605,177 | △224,823 |
| 3. 事業費 | 6,375,000 | 3,887,376 | △2,487,624 |
| A 卒業生対象事業 | (3,150,000) | (1,308,356) | (1,841,644) |
| B 在学生への支援事業 | (3,025,000) | (2,473,000) | (552,000) |
| C その他の事業 | (200,000) | (106,020) | (93,980) |
| 4. 大学への補助金 | 740,000 | 740,000 | 0 |
| 5. 記念事業積立 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 6. 雑費 | 100,000 | 0 | △100,000 |
| 7. 予備費 | 2,157,859 | 0 | △2,157,859 |
| 当期支出合計 | 12,238,859 | 6,941,247 | △5,297,612 |
| 次年度繰越金 | 0 | | |

2022年度特別会計決算書
沖縄大学同窓会創立60周年記念事業
2022年4月1日～2023年3月31日

| 収入の部 (単位:円) | | |
|-------------|-----------|----------|
| 項目 | 決算額 | 備考 |
| 1. 前年度繰越金 | 1,500,017 | 2019年度開始 |
| 2. 特別積立金 | 500,000 | 一般会計より |
| 3. 雑収入 | 13 | 利息 |
| 収入の合計 | 2,000,030 | |

| 支出の部 (単位:円) | | |
|-------------|-----------|----|
| 項目 | 決算額 | 備考 |
| 1. 次年度繰越金 | 2,000,030 | |
| 支出の合計 | 2,000,030 | |

1. スポーツ大会の開催
2. 同窓会奨学金の交付
① 在学生・卒業生の人材育成のため、奨学金を給付
- ② 児童福祉特別奨学金授与
3. 「同窓会報」発行年2回(6月・1月予定)
4. 各支部(久米島・宮古・八重山・関東・関西)活動支援
5. 北部支部支部結成を目指す
6. 部会への活動支援事業
同窓会創立60周年記念事業積立継続
8. 在学生への支援事業
在学生の学習と各種活動のため次の支援を行う
① 同窓生子息・子女(あるいは配偶者)への入学金一部補助
- ② 資格取得支援補助
- ③ 就職活動への補助
- ④ サークル県外派遣費補助
- ⑤ 大学祭運営補助
- ⑥ 卒業証書ホルダー費用補助
- ⑦ 卒業ハイティ運営補助
- ⑧ 児童福祉特別奨学金授与
- ⑨ その他支援活動補助

2023年度
事業計画案

支部長・部会長「挨拶及び活動計画」

関東支部長 仲宗根政則

関東支部は今年で設立21年目を迎えます。新型コロナウイルスの影響で支部活動を制限していましたが、23年度は下記の内容で、6月の支部総会をスタートに内容を充実させ、しっかりと活動をしてゆきます。今年設立された関西支部とも連携も図ってゆきます。今年度も引き続き宜しくお願い申し上げます。

2023年度活動計画

《重点方針》

1. 支部行事の開催を通じて参加メンバーの懇親を深めると共に、新規参加メンバーの拡大
2. 関東在任の大学OB・OGへ関東支部の認知度向上(同窓会本部と連携して卒業生との接点づくり、SNSやメール等での連絡及び発信など)

《活動計画》

1. 2023年度関東支部総会及び懇親会(6月17日開催予定)
2. 支部役員会(必要に応じて開催)
3. 関東支部忘年会
4. 関東エリアで就活する大学3年生と大学OB・OGとの交流会(実施の場合)

《役員紹介》

支部長 仲宗根政則
 事務局長 阿波根昌吾
 監査 高山朝宜
 顧問 新城将孝

関西支部長 清村 斉

2023年3月11日同窓生の営む京都市のナンクル食堂にて設立総会を執り行い、沖縄大学同窓会関西支部がスタートしました。

《役員紹介》

これより「後輩たちへの受け皿となる関西支部」を目指し活動の幅をひろげていきます。関西支部には関西出身の沖縄大学同窓生も在籍しています。つまり我々は、これから県外へ羽ばたく現役生と同じく、地元を離れて活動するという経験をした先輩なのです。その経験とネットワークが受け皿となることでしょう。

支部長 清村 斉
 副支部長 神田智博
 事務局長 具志堅毅
 事務局次長 橋本風伍
 幹事 森田直



宮古支部重点目標 下地 一美

宮古支部重点目標 「同窓生のネットワークを拡充し冠奨学制度の周知に努める」

《主な活動紹介》

1. グラウンドゴルフを楽しむんだ後、定期総会を袖山ガーデンにて開催しています。内容は事業報告、決算報告、予算、事業計画についての審議です。
2. 役員会が必要に応じて臨時です。
3. 沖縄大学同窓会定期総会参加。

久米島支部長 上江城 久人

久米島支部は今回、4年ぶりに総会をリアル開催することができました。新型コロナウイルスが5類に移行し今年度は支部イベントを充実させ、課題でもある先輩方との交流も増やし、これまで以上に充実した支部を目指します。

- 5月 定期総会
- 8月 保護者懇談会・父母交流会
- 12月 役員会
- 1月 新年会及び

- 3月 卒業式
- 4月 入学式
- パークゴルフ大会



副支部長 下地尚登

副支部長 藤本明一
幹事 喜友名朝則、事務局次長 下地信弘



支部長 下地 一美

《役員紹介》

八重山支長 鳩間 真英



八重山支部は毎年4月から5月に総

会を持ち、活動方針、活動計画に基づいて活動しております。

大きな課題は会員の高齢化と減少です。新規会員もなく十数年がたつてい

女性部会長 飯田 明美



向夏の候、皆様にはご隆盛のこととお慶び申し上げます。

同窓会女性部会長を四年間務められた熊谷フサ子前会長のご退任に伴いまして、私、飯田明美が会長職を承ることになり御挨拶申し上げます。

2023年度計画にお

《活動紹介》

・グラウンド・ゴルフをメ

・定期総会(4月)、忘年会(12月)、父母会との懇親会開催

・大学、同窓会の行事等への協力、参加

・在学生への奨学資金の募

・同窓会推薦枠の推薦入学希望

《支部役員》

支部長 鳩間真英
副支部長 石川修

きましては、これまでの部長・諸先輩の方々のなされて来られた活動を参考にしたいと思えます。喫緊の課題としては、同窓生の方々が女性部会への参加しやすい状況を整えることではないかと考えております。何分、経験不足で至らぬ点があるかと思いますが、諸先輩方のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



事務局長 宮城和子
書記 慶田盛京子
会計 當山美恵子



青年部会長 島袋 格

青年部会は50歳以下の会員ネットワークの拡充や部会員の増員を目的とし、その趣旨のもと活動を展開してきました。本年度からは新型コロナ

・現役学生に同窓会の存在とその活動を知っていただくため、近年は活躍めざましい学生を招いて交流会を催してきました。本格的に再開した大学祭の実行委員メンバーを招いて11月に観月会を。全国へ

支援同志会長 新垣 淑典



2018年、沖縄大学同窓会有志により設立された「沖縄大学支援同志会」は今年で6年を迎えました。

在学生の皆さんの学業環境を整え学業に専念できるように、支援するために結成されました。支援同志会には同窓生だけでなく県内の一般企業や、その他多くの方々の協力を得て、支援金を集め在校生の支援を行なっています。

過年度は主に離島出

駒を進めた軟式野球部の選手達を招いた野球座談会を2月に開催しました。

現役学生の活躍を応援し交流を深めることで、卒業後の母校への関わりや、同窓会の趣旨に賛同いただくことを目的に、今後とも同窓会と部会の活性化をはかっています。

身者の家賃補助をしてきました。2022年度は大学側と相談し、学内の施設整備に支援しました。写真。

まだまだ在校生への支援は必要だと考えられます。つきましては同窓会の皆様にも改めて支援同志会へのお力添えをお願いし、活動報告並びにご挨拶いたします。



同窓会 学生支援

宅地建物取引士
資格試験合格者

同窓会は3月7日、本館で宅地建物取引士資格試験合格者の又吉誠吾さん（経法商学科4年次）に表彰状と報奨金を贈呈しました。



式には柵原会長や山代寛学長らが参加。柵原会長は「かなり勉強して試験に挑み、頑張った結果が表れ、自分に対する自信も芽生えたと思います。この資格を生かして、新しい世界に飛び出してください」と激励。山代学長は「宅建は難しい資格試験です。さらに勉強し他の資格試験にも挑戦を」と述べ、これに対し又吉さんは「試験勉強する習慣を就職する不動産会社でも生かして行きたい」と話しました。

ロボコン大会

「組み込みソフトウェア」の設計技術を競うロボコンコンテスト『E.T.ロボコン2022沖縄地区大会』が9月に開催され、経法商学科4年次の具志堅蓮太さん率いるチームオキダイがブライマリーコース（競技部門2位、モデル審査部門Gota Model）総合部門で優勝に輝きました。



2年連続の快挙。昨年11月に神奈川県で開催された全国大会へ出場した。具志堅さんは「今年は3年ぶりのリアル会場での競技会となり、いままで以上に楽しい大会になった」と話しました。他メンバーは知花夢叶さん（経法商学科2年次）と、中村圭佑さん（経法商学科4年次）。

こども文化学会

こども文化学科の学生たちによる「2022年度こども文化学会」が2月2日午後、同窓会館で開催され、子どもたちとの実習ゼミ、沖大付属小学校の活動報告などが行われました。



同窓会からは学会支援として「祝儀」を須藤義人学科長に贈りました。柵原会長からは「教師こそ、子どもにとつての最高の環境でなければならぬ。大学で教えてもらった先生方の背中を見習い、良い教師を目指してほしい」と来賓挨拶をしました。未来の教員たちが、生き生きと大学で学ぶ姿は先輩として大変たのしく感じました。同窓会は今後も現役学生をさまざまな形で支援していきます。

軟式野球部懇親会

軟式野球部の懇親会を開いて下さりありがとうございました。同窓会、OB会、そして様々な応援してくださる皆さまのおかげで私たちの軟式野球部は支えられていると改めて感じました。



昨年、秋の全国大会では思うような結果が出せませんでした。大会を通して、チームの絆、悔しさなど今まで感じられなかった皆さんの大切なことを一度に得られました。今年度は支えて下さるたくさんの方々への期待を胸に、全国制覇をチームの目標とし今まで以上に熱く頑張っていきます。（主将・大城澄土）

管理栄養士国家試験合格者報奨金贈呈

「管理栄養士国家試験」に合格した56人に3月25日、沖縄大学1号館501教室で、同窓会の「資格取得支援費」から、報奨金が贈られました。

合格者は「健康栄養学部管理栄養学科」の第1期生として、3月に卒業した学生で、合格率は77・8%でした。

宮良恵美学科長が「卒業生の集い」と題して、急きよ呼びかけて開催されたもので、合格者のうち19人以上の卒業生が駆け付けました。

3月末で退任の新城正紀学部長は、合格した教員を前に管理栄養士の心構えとして、「寄り添う」「環境を整える」という二つの言葉をテーマに挨拶。「管理栄養士の資格を得たからそれで良いのではない。自らの専門性を発揮できてこそ初めて、君たちは、君たちを必要としている人に寄り添うということになる」と、厳しくも温かい言葉を贈りました。柵原会長は「今の合格を手にした喜びを忘れずに、成長を続ける人になってほ

しい」とあいさつ。

終了後は、その場で「健康栄養部会」という同窓会の「新部会」を立ち上げ、健康栄養学部の卒業生が集える同窓会活動をする事が報告されました。今後、同窓会でも承認に向け準備を進め、新たな若い力の結集に期待しエールを送ります。



同窓生の皆さん、同窓会は来年の創立60周年に向け、「関西支部」の設立だけでなく「健康栄養部会」という「新たな息吹」がこちらこちらで感じられる状況です。今後とも同窓会活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

人物シリーズ
活躍する
同窓生 ②4

この人物シリーズは、同窓生の社会的活動を紹介しますとともに、同窓生同士のネットワークを広げることと、在学生へのメッセージを通して沖縄大学との絆を深めたいとの趣旨で企画されました。

RMB株式会社 勤務
沖縄大学同窓会関東支部事務局長

阿波根 昌吾さん

2015年3月
人文学部 とも文化学科 卒



◆現在のお仕事は

東京で広告代理店のRMB株式会社に勤務しています。インターネット広告を取り扱っており、皆さんがインターネット上で見る

広告は、もしかしたら私が関わっているものかも知れませんが。みなさんが目にする広告は「鬱陶しいモノ」という印象を持っている方も少なくないと思います。本来広告とは「売りたい人」と「買いたい人」繋げる素晴らしい媒体です。私はそんな「本来の広告」を取り戻すべく日々奮闘しています。

◆沖縄大学入学のきっかけは？

当時は教職を目指していたこともあり、こども文化学科が気になっていました。実際に模擬授業を拝見した時に先輩方のキリッとした立ち振る舞いと、教えて下さる教授のみなさまも良い方ばかりで、沖縄大学で学ぶことが自身の大きな成長につながると確信し沖縄大学を選びました。

就職課程を経て、私の考えも徐々に変わりました。最終的には就職を選択しましたが後悔はありません。教職以外の選択をした私に対して、親身になって向き合い続けてくれた学友・教授達には感謝しています。

素晴らしい学友・教授達に恵まれ、とても充実した大学生を送りました。

◆在学中の思い出は？

大きく3つあり。「学友」「教授」「就職支援課」が強く印象に残っています。「学友」では、当時こども文化学科で教職を学ぶ中、一丸となつて皆が勉強に取り組む姿はとても印象的でした。仲が良く、切磋琢磨する素



県外就活ツアー。筆者は後列左から2人目

晴らしい環境だったと感じます。

「教授」では、3年間同じゼミを選択していたのですが、そのゼミの教授であつた梶村光郎先生には大変お世話になりました。単位の面から就職活動の面で心配をおかけしました。梶村先生だったからこそスムーズに進められたと感謝しています。

「就職支援課」では、兼島徹さんに非常にお世話になりました。私が就職活動に踏み切ったタイミングは大学2年生の終わりごろで、初めの相談は就職支援課でした。就職活動開始するには早いタイミングで、且つこども文化学科の学生である私に手厚いサポートと、「県外就活ツアー」等に参加させていただくなど幅広い経験をさせていただきました。

私は大学4年生になる前の3月の段階で希望の企業から内定をいただき就職活動をスムーズに終了できました。これはすべて就職支援課のサポートがあつたこそだと断言できます。

◆大学卒業後の進路について

大学卒業後は広告代理店、人材紹介業、企業人事(採用担当)とHR×広告の軸でキャリアを広げました。特に人材業界の人と関わる仕事に興味を持つたのは、就職支援課の影響が大きいと感じています。

◆大学への期待と在学生へのメッセージを

現在の沖縄大学では幅広い学問が学べますが、「選択肢はそれ一つではない」ことをお伝えしたいと思っています。どの学科に在籍していても、選択肢はそれ一つではありません。転科もでき、その学科のままでも新しいチャレンジは可能です。難しく勇気がいる行動にはなりますが、沖縄大学には挑戦をサポートする環

境が整っています。あなた自身の行動を沖縄大学は見捨てずサポートしてくれるでしょう。皆さんが自身の可能性を諦めることなく、大きく力強く羽ばたいて活躍していくことを心より願っています。

私の話を聞いてみたい方がいらつしやいましたら、ご連絡ください。沖縄大学同窓会関東支部に所属していませんので、関東にいらつしやる方もそうでない方もお気軽にご連絡ください。

編集後記

会報第36号をお届けします。編集に関わった皆さんへ心から感謝します。初の卒業生を送り出した健康栄養学部管理栄養学科同窓生を特集しました。「活躍する同窓生」「文芸」欄へのご投稿お待ちしております。分かりやすい紙面づくり、ネットワークづくりが編集方針です。

広報委員会委員長
下地将生